

# 事業評価調書

## 基本情報

年度	2005	会計コード	10	一般会計	事業コード	23645
事業名	札幌ドーム利用料金減免補てん補助金					
評価担当課	所属コード	観光文化局スポーツ部企画事業課				
	担当者名	鍋島 宰	電話番号	211-3044		
政策名						
施策名	主	スポーツを取り巻く環境の充実				
	副					
事業の性質	経常経費 [ 内部管理 内部管理以外 ] 臨時的経費					
事業内容	内容	コンサドーレ札幌に対する支援の一環として、チームが札幌ドームを利用する際の利用料金の1/3減免措置を講じ、これにより生じる減収相当額を札幌ドームの管理受託会社である(株)札幌ドームへ補助金として交付する。				
	主たる受益者	札幌ドームという快適な環境でゲームを観戦できる多くの市民				
事業の必要性	コンサドーレ札幌の運営会社である(株)北海道フットボールクラブは、自立経営に向けた努力を続けているが、累積債務が25億円を超え、債務超過の状態にあるなど厳しい経営状況にあり、厚別公園競技場に比べて高額な札幌ドームの利用料金が経営を圧迫しないように、本事業を継続する必要がある。 また、2005シーズンの1試合平均入場者数は、札幌ドーム:14,394人、厚別公園競技場:7,687人となっており、札幌ドームに対する市民ニーズは高い。					
実施期間	単年度	単年度継続	複数年継続	開始	2000 年度	終了 年度
実施形態	直営	一部委託	全部委託	補助・助成	その他	
関連法令						
他都市の状況	(アマチュア料金適用)山梨県 (80%減免)福岡市 (50%減免)川崎市、京都市、大分県・大分市 (全額免除)山形県、水戸市					
関係HP						
関連計画	新まちづくり計画	対象	対象外	計画コード		
	基本目標					
	重点戦略課題					
	施策					
	基本事業					
その他関連計画						
環境保全事業	対象	対象外	目的			
	目標					
	指標					監視測定結果
環境負荷事業	対象	対象外	目的			
	目標					
	指標					監視測定結果

## 事業費

	15年度決算	16年度決算	17年度予算	17年度決算	18年度予算
事業費(A)	23,994	21,328	31,992	29,326	31,992
特定財源	国・道	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
一般財源	23,994	21,328	31,992	29,326	31,992
人工	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
人件費(B)	1,660	1,620	1,600	1,600	1,600
計(A+B)	25,654	22,948	33,592	30,926	33,592

事業費の 執行内容	札幌ドーム利用減免補填補助金 2,666千円(1試合あたり)×11試合
--------------	----------------------------------------

## 指標

指標1	指標名	札幌ドームホームゲーム開催数				
	設定理由	札幌ドームの快適な観戦環境を多くの市民に提供する。				
	目標・実績	14年度実績 11試合	15年度実績 9試合	16年度実績 8試合	17年度目標 12試合	17年度実績 11試合
指標2	指標名	直接スポーツを観戦する人の割合				
	設定理由	トップスポーツにふれる機会を提供し、みるスポーツの振興を図る。				
	目標・実績	14年度実績	15年度実績 41.80%	16年度実績 -	17年度目標 -	17年度実績 45.10%
指標3	指標名					
	設定理由					
	目標・実績	14年度実績	15年度実績	16年度実績	17年度目標	17年度実績
指標4	指標名					
	設定理由					
	目標・実績	14年度実績	15年度実績	16年度実績	17年度目標	17年度実績
指標5	指標名					
	設定理由					
	目標・実績	14年度実績	15年度実績	16年度実績	17年度目標	17年度実績
補足説明						

実施前との事業内容変更点		平成17年度は当初12試合を予定していたが、11試合に変更。 平成18年度は12試合を予定。	
受 当 性 ・ 必 要 性 の 検 証	経 常 的 経 費	受益の視点での改善点	市民ニーズの高い札幌ドームでのホームゲーム開催が一定数以上確保され、より多くの市民に観戦の機会が提供されている。
		コストの視点での改善点	札幌ドームでのホームゲーム開催が一定数以上確保されることにより、札幌ドームの有効活用が図られている。
		事業の影響縮小	使用料の問題から、札幌ドームでのゲーム開催にマイナスの影響がある。
	臨 時 的 経 費	実施によるプラスの効果	
事業を行わなかった場合のマイナスの影響			
課 題		同社が、経営改善に向けた段階的プログラムを達成し、目標である自立した経営とチームの強化を実現できるよう支援する。	
今 後 の 方 向	内容	<p>拡充      現状維持      縮小      休止・廃止      その他</p> <p>(株)北海道フットボールクラブは、現在、経営改善に向けた段階的プログラムを遂行しており、今後は、同社の経営状況及び北海道の支援状況を見極めながら実施していく。</p>	
	歳出見通し	<p>増加      増減なし      減少      予算なし      その他</p> <p>現在の経営状況では、現行と同程度の札幌ドーム開催数を確保するために引き続き補助を要する。</p>	
備 考			

【2次評価】

--

【外部評価】

--

【改善・見直しの検討結果】

--